

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 21 年 4 月 30 日 (2009.4.30)

【公表番号】特表 2008-533667 (P2008-533667A)
 【公表日】平成 20 年 8 月 21 日 (2008.8.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-033
 【出願番号】特願 2008-500846 (P2008-500846)
 【国際特許分類】

H 0 1 J 61/30 (2006.01)

H 0 1 J 61/33 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 61/30 R

H 0 1 J 61/33 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 21 年 3 月 5 日 (2009.3.5)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

第 1 の終端、第 2 の終端、および内部領域を画定する管状部材を含む本体部分であって、前記管状部材が延長された軸芯に沿って前記第 1 の終端と前記第 2 の終端の間に延びる、本体部分と、

前記本体部分の前記第 1 の終端に設けられた第 1 の端部であって、前記第 1 の端部が前記内部領域に通じる第 1 の貫通した通路を有する第 1 の管状の延長部を含み、前記第 1 の端部が前記第 1 の管状の延長部と前記本体部分の間に結合された第 1 の移行部分をさらに含み、前記第 1 の端部が、前記放電管を約 1 1 0 0 ケルビンの温度から約 3 0 0 ケルビンの空气中で冷却するとき前記移行部分内の温度差が約 2 0 ケルビンを超えないように構成される、第 1 の端部と

を備えるランプ用放電管。

【請求項 2】

前記第 1 の移行部分が、前記延長された軸芯から実質的に垂直に延びる方向に先細りであるテーパ部を備える請求項 1 記載の放電管。

【請求項 3】

前記テーパ部が前記内部領域に面する内側面を含み、前記テーパ部が前記延長された軸芯の方向の最大限度と前記延長された軸芯の方向の最小限度の間にわたり、前記最小限度が前記内側面に対する第 1 の寸法 D 1 を伴い、前記最大限度が前記内側面に対する第 2 の寸法 D 2 を伴い、前記比 D 1 / D 2 が約 0 . 0 7 から 0 . 4 3 である請求項 2 記載の放電管。

【請求項 4】

前記延長された軸芯のまわりに半径「R」で配設された円形の周辺を有し、前記テーパ部が前記内部領域に面する内側面を含み、前記テーパ部が前記延長された軸芯の方向の最大限度と前記延長された軸芯の方向の最小限度の間にわたり、前記最小限度が前記内側面に対する第 1 の寸法 D 1 を伴い、前記最大限度が前記内側面に対する第 2 の寸法 D 2 を伴い、前記比 D 2 / R が 0 . 4 0 から約 2 . 2 である請求項 2 記載の放電管。

【請求項 5】

前記本体部分の前記第 2 の終端に設けられた第 2 の端部をさらに備え、前記第 2 の端部が前記内部領域に通じる第 2 の貫通した通路を有する第 2 の管状の延長部を含み、前記第 2 の端部が前記第 2 の管状の延長部と前記本体部分の間に結合された第 2 の移行部分をさらに備える請求項 1 記載の放電管。

【請求項 6】

前記第 1 の移行部分が外側半径 R_1 および内側半径 R_2 を伴い、前記比 R_1 / R_2 が約 0.5 から 2.40 である請求項 1 記載の放電管。

【請求項 7】

第 1 の終端、第 2 の終端、および内部領域を画定する管状部材を含む本体部分であって、前記管状部材が、延長された軸芯に沿って前記第 1 の終端と前記第 2 の終端の間に延びる、本体部分と、

前記本体部分の前記第 1 の終端に設けられた第 1 の端部であって、前記第 1 の端部が、前記内部領域に通じる第 1 の貫通した通路を有する第 1 の管状の延長部を含み、前記第 1 の端部が前記第 1 の管状の延長部と前記本体部分の間に結合された第 1 の移行部分をさらに含み、前記第 1 の移行部分が外側半径 R_1 および内側半径 R_2 を伴い、前記比 R_1 / R_2 が約 0.5 から 2.40 である、第 1 の端部と
を備えるランプ用放電管。

【請求項 8】

前記比 R_1 / R_2 が約 1.2 から約 1.7 である請求項 1 又は 7 に記載の放電管。

【請求項 9】

前記第 1 の端部が前記第 1 の移行部分と前記本体部分前記の間に結合された第 1 のリング部をさらに備え、前記第 1 のリング部が厚さ T_1 を伴い、前記第 1 の端部が外側半径 R_3 を伴い、前記比 T_1 / R_3 が 0.20 から約 0.65 である請求項 1 又は 7 に記載の放電管。

【請求項 10】

前記比 T_1 / R_3 が約 0.28 から約 0.4 である請求項 9 記載の放電管。

【請求項 11】

前記第 1 の端部と実質的に同一である第 2 の端部をさらに備え、前記第 2 の端部が前記本体部分の前記第 2 の終端に設けられる請求項 7 記載の放電管。

【請求項 12】

セラミック材料を含む請求項 1 又は 7 に記載の放電管。